



## 目次

薬用植物の紹介	薬用植物園長 草野源次郎	1
新入生へのメッセージ	学長 岡源郎	2
卒業式・学位記授与式、その他		2
御退職の先生方を送るにあたって	学長 岡源郎	3
松永春洋教授最終講義によせて	助教授 田中麗子	3
田中千秋教授最終講義によせて	助教授 大桃善朗	4
保坂康弘教授最終講義によせて	助教授 黒田和道	4
新カリキュラムについて	カリキュラム委員長 石田寿昌	5
平成10年度前期行事予定、その他		6
平成9年度卒業者の進路状況並びに平成10年度卒業予定者の進路希望調査状況	就職部	7
人事		11
平成10年度文部省科学研究費補助金採択状況、その他		12
平成10年度学校法人予算について	事務局長 河野光次	13
第83回薬剤師国家試験の結果と分析	前薬剤師国家試験対策委員長 稲森善彦	13
	副委員長 中元安雄	
学位授与、慶弔、総務課だより、学生課だより		15
平成11年度入学試験概要		17
平成10年度入学試験結果、図書館だより		18
各部・委員会・委員一覧		19
教員研究業績一覧（1997年）		21

ハシリドコロ *Scopolia japonica* Maxim. (ナス科)

教授 草野源次郎

本州，四国，九州の温帯林内でよく見られる多年生草本である。溪流の近くの斜面を好む。春に地中の根茎から茎葉を伸ばし，葉が展開した直後の4～5月に開花する。花冠は約2cmの鐘形で，先端は浅く5裂する，その外側は紫色で，内側は黄緑色を呈する。花の後にがくが大きくなり，果実を包む。

地上茎葉は梅雨明け頃までには枯れるが，山菜シーズンに，その茎葉が誤食されて，中毒事故が起こる。これはこの植物が山菜として愛用される植物に似ているための事故ではなく，茎葉が柔らかいので，つい手が伸びてしまうのであろう。最近集団で中毒することがあり，民間での植物の鑑別力が低下しているためと思われる。

ハシリドコロの和名は中毒した人が走りまわることの意味し，その根茎がオンドコロ（ヤマノイモ科）の根茎に似ていることを物語っている。地方名のサワナス，オメキクサ，ユキワリソウなどもこの植物の特徴を物語っている。この根茎をロート根と呼び，薬用に供するが，ロート（莨菪）と名付けたのは平賀源内で，それを支持したのが小野蘭山である。本草綱目にはシナヒヨス *Hyoscyamus niger* var. *chinesis* (ナス科) が莨菪（のたうち回る）と名付けられている。シナヒヨスの茎葉には毛が生えていると記載されており，ハシリドコロは無毛であることから，別の植物であることを認めながら，その中毒症状が似ていることから，ハシリドコロをロートと呼ぶことにしたのであろう。

ハシリドコロが散瞳薬になることを教えてくれたのはシーボルトである。江戸に参内する折に，尾張の宮（現在の名古屋市熱田区）でハシリドコロの生えているを見て，ベラドンナ *Atropa belladonna* (ナス科) であると思い，ヨーロッパでの利用法を同行の人達に教えたのである。そのことを伝え聞いた眼科医の土生玄硯はシーボルトに直接指導を受けて，国内での利用を始めたのである。その指導のお礼に葵の紋の入った礼服をプレゼントしたが，そのことが後にシーボルト事件に連座したとして，処罰される原因となった。

ハシリドコロはヒヨスチアミンやスコポラミンなどのトロパンアルカロイドを含み，ベラドンナ根の代用になることを明らかにしたのは長井長義及びE.



Schmidt で，1887年（明治20年）である。マオウからエフェドリンを発見する約10年前のことである。現在ではトロパンアルカロイドはナス科の数属の植物に分布していることが知られている。華岡青洲が麻酔薬にした曼陀羅のシロバナヨウシュチョウセンアサガオやタバコに代用して中毒したチョウセンアサガオなどのダツラ属植物，4000年の昔から靈薬とされたマンドレイク，オーストラリアの重要薬用植物のズボイシアなどもトロパンアルカロイドを含む。

ヒヨスチアミン（アトロピン）やスコポラミンは代表的な副交感神経遮断薬で，鎮けい薬，鎮痛薬に分類され，胃腸薬に利用される。また，前者はサリン中毒の解毒薬として，2年前の地下鉄サリン事件の時には，都内の硫酸アトロピンの在庫が無くなるというほどに緊急に利用された。スコポラミンは健忘症の実験動物を作り出すことなどにも利用されている。

30年ほど前に娘が腸重積にかかったことがある。さしみに添えられていた練りワサビの塊を飲み込んでしまったのが原因であった。苦しみ始めた時から腸重積を心配して小児科医の診察を受けたが，それと診断されるのに半日がかかった。娘はすっかり弱ってしまった。小児外科の専門医は触診で即座にそれと判断し，腸の痙攣を鎮めるためであろう，硫酸アトロピンを注射した。そのとき衰弱していた娘の顔に急に生気がもどり，元気になった。くすりがかくも劇的に効くものであることを実感した。ハシリドコロの花を眺めながら，30年前の出来事を昨日のことのように思い出した。

## 新入生へのメッセージ

学 長 岡 源 郎

新しく大阪薬科大学へ入学された皆さん、おめでとうございます。大阪薬科大学は長い歴史と伝統を持ち、卒業生の多くは、それぞれの分野で指導的立場で活躍されています。皆さんも誇りに思ってくださいと思います。

皆さんは、これから薬学の道を歩まれます。“初めの第一歩は、道半ばに当たる”と言います。志をしっかりと持って第一歩をふみ出して下さい。

さて、薬学の薬という字は草冠に楽しいと書きます。楽しい学問です。私たちの先祖は、草根木皮から病を癒し、体が楽になる“くすり”を経験的に見出してきました。薬という字にはこういった意味があります。いかに医療技術が進歩した今日でも薬は医療の場では欠かせません。薬なくして治療に当たっている臨床各科はないといっても過言ではありません。それだけに、これから薬のスペシャリストになれる皆さんにとっては、責任の重いものがあります。薬を創り出すところから、その薬を医療の場で適正に使用するところまで、幅広く学ばねばなりません。そしてその内容も豊富です。皆さんは消化不良にならないように、一つ一つかみしめ、味わって、自分の血とし肉にして頂きたい。そして卒業時には、少なくとも薬剤師国家試験には合格できる力を身につけ、豊かな人間性と教養を備えた薬のスペシャリストになって頂きたいと願っています。

最後に、皆さんが、この新しいキャンパスで友達のを輪を広げ、明るく楽しく、思い出の多い学園生活を送られることを希望してやみません。

### ◇ 卒業式・学位記授与式

平成10年3月13日(金)午前10時30分より体育館において、平成9年度大阪薬科大学薬学部卒業式並びに大学院学位記授与式(学部341名、大学院博士後期課程1名、博士前期課程27名)が来賓・父母多数参列のもとに挙行された。

### ◇ 入学式

平成10年4月6日(月)午前10時30分より体育館において、平成10年度大阪薬科大学薬学部並びに大学院博士前期課程入学式(学部295名、大学院博士前期課程38名)が来賓・父母多数参列のもとに挙行された。

### ◇ 最終講義

下記のとおり、最終講義が行われた。

田中千秋教授

日時 平成10年3月16日(月)午後2時

演題 「大阪薬科大学での半世紀を顧みて」

保坂康弘教授

日時 平成10年3月17日(火)午後2時

演題 「大阪薬科大学での10年間の研究」

松永春洋教授

日時 平成10年3月18日(水)午後2時

演題 「フィールドワークを含む30年間の足跡」

\*場所はいずれも講義室2A

### ◇ 退職記念パーティー

3月20日(金)午後5時より食堂において松永春洋教授、田中千秋教授、保坂康弘教授、岩本勉助手の退職記念パーティーが開催された。



## 御退職の先生方を送るにあたって

学 長 岡 源 郎

本年3月末をもって、放射薬品学の田中千秋教授、医薬品化学の松永春洋教授、微生物学の保坂康弘教授、そして電子顕微鏡の岩本勉助手の4人の方々が定年御退職されました。各先生方はそれぞれの分野で、永年にわたり教育、研究に御盡力され、本学の発展に貢献されました功績は大きいものがあります。ここにあらためて先生方に感謝の意を表します。

田中先生は、私が本学の学生の頃、京大から助手としてお見えになりました。昭和28年のことです。昭和29年の卒業までの1年間、実習などで御指導をうけました。当時、大変かわいい(?)先生でいらっしやいまして、人気も抜群、私たちは、田中先生と呼ばずに“千秋先生、千秋チャン”などと呼んでいたのを覚えています。そんな千秋先生が定年御退職されるのかと思うと淋しい限りです。

他のお三人の先生方との出会いは、私が本学に戻ってからです。松永先生はフィールドワークとして天然薬用資源の探索で、また保坂先生は主にウィルスの形態学の研究で、それぞれ第一人者でいらっしやることは、以前からお聞きしていました。田中先生はじめ松永、保坂両先生方の永年にわたる研究成果は、最終講義で興味深く拝聴させて頂き、あらためて先生方の学問への情熱に深い感銘をうけました。

電頭でんづつの岩本先生とは、御退職パーティーの折、私が阪大医学部薬理学教室に在籍中、すぐ隣の第一解剖学教室で電頭でんづつを学んでいらっしやったとお聞きし、当時を思い出し、なつかしく懇談させて頂きました。

最後になりましたが、これからも先生方におかれましては、温かく大阪薬大を見守って頂き、大学の発展にお力添えくださいますようお願い申し上げます。先生方の御健勝をお祈り申し上げます。

## 松永春洋教授最終講義によせて

助教授 田中 麗子

3月18日(水)本学2A教室において「フィールドワークを含む30年間の足跡」の演題で、松永先生の最終講義(午後2時~3時50分)が執り行われました。

先生は昭和41年本学に助教授として着任され、昭和48年教授への昇格を経て、就職部長、研究委員長などの要職につかれると共に、31年間という長きにわたり、研究と学生への教育に御精励してこられました。

最終講義では先生のライフワークであった“森林産業廃棄物の有効利用”を目的として松科及びトウダイグサ科植物の含有するトリテルペノイドの構造と新規骨格を有するテルペノイド類の生合成経路の考察、それらの発癌プロモーション抑制活性を中心に、時折、植物採集にまつわるスライドをからめながら、軽快なテンポでお聞かせ頂きました。教育面では、先生が着任された昭和41年には本学は薬理学の講義はなく、先生が薬理学と有機化学、生化学を総括した課目である“薬品化学”を開講するに当り苦勞されたお話が印象的でした。私自身も先生の御指導を受けて24年間、単離方法や構造決定の手法を直接御指導頂いた頃のことを懐かしく思い出されました。当時は昨今のように分離装置、機器分析が発達しておらず、試料が1gないと構造決定は困難といわれていた時代でした。

先生からはいろいろとお教え頂きましたが、“毅然としていなさい”という言葉が私自身が一番好きで、ずっと見習わないといけないと思っておりました。本当に先生はいつもかくしやく矚矚としておられました。

当日は年度末の忙しい時期にもかかわらず学内の諸先生方をはじめ職員、在学生、卒業生の方々が多数御参集下さいました。本当に有難うございました。誌面をかりまして厚く御礼申し上げます。先生におかれましては健康で退任を迎えられたことは本当におめでたいことと存じます。どうかこれからも健康に御留意されて、いつまでもお元気でいらっしやいます様、お祈り致しますと共に、今後共よろしく御指導の程、お願い申し上げます。

## 田中千秋教授最終講義によせて

助教授 大桃 善朗

3月16日、本学2A教室におきまして、田中千秋先生の最終講義が、「大阪薬科大学での半世紀を顧みて」という演題で行われました。

当日は、年度末の多忙な時期にもかかわらず、学内の多数の先生方、職員の皆さん、さらに学生諸君にお集まりいただきました。この誌面をかりまして、あらためて厚くお礼申し上げます。また、平日にもかかわらず、教室出身者をはじめとして、学外の方々も休暇を取ってご出席下さいました。これも田中先生のお人柄ゆえかと思いました。

さて、田中先生は、昭和28年4月に本学に就職され、本年3月にご退職になられるまで、45年間の長きにわたって、教育、研究と、本学の発展のためにご尽力され、この間、学生部長、研究委員長、就職部長、教務部長、法人評議員などを歴任されました。また先生は、初代放射薬品学教室教授として、本学におけるRI研究施設の立ち上げと整備にご苦労されました。

実に、半世紀近く本学にお勤めになられた先生のご功績は、他の人には容易に超えられるものではなく、ただひたすら敬服するほかはありません。

最終講義では、先生のライフワークであるオキサゾール誘導体に関する研究を中心に、多岐にわたってたいへん興味深いお話を伺うことができました。なかでも、核兵器、原子力の平和利用の問題や、私たちの身近な環境問題など、先生のご専門以外の問題についても、積極的にお考えを述べられ、先生の高い見識にあらためて感銘を受けました。

本学を取り囲む内外の状況は、依然として、きわめて困難であります。どうか先生には、ご退職後も、これまでとは異なる視点からご指導いただけますようお願いしております。

最後になりましたが、田中先生におかれましては、今後とも、お健やかに過ごされるようになりますよう心からお祈り申し上げます。

## 保坂康弘教授最終講義によせて

助教授 黒田 和道

保坂康弘先生の最終講義が「大阪薬科大学での10年間の研究」の演題で3月17日に本学2A教室において執り行われました。先生は、昭和63年3月に大阪大学を退職され、同年4月に本学第2微生物学教室の教授として赴任されました。以来、図書館長、研究委員長など要職を勤められました。また、本学における分子生物学の研究施設の充実を目指され、遺伝子解析室の創設に尽力されました。ご自身の研究では、本学に赴任される以前からの研究テーマであるウイルス感染症、特にインフルエンザウイルスのマウスへの感染の解析を中心に研究を続けてこられました。

最終講義では、本学において10年間にわたって行われた研究の内容をまとめて話されました。先生は、電子顕微鏡を用いた仕事から研究を始められたのですが、最終講義も電子顕微鏡写真から始まりました。その後は、感染免疫、特にCTL応答の話を中心に丁寧にご講義いただきました。

当日は、年度末のあわただしい時期にもかかわらず、学内の諸先生方をはじめ、職員、学生の方々が多数ご参集下さいました。また、教室出身者を中心に学外からも多くの方々が、平日にもかかわらず、出席して下さいました。ただ、講義中に暖房装置が故障し寒さを我慢して頂くことになりましたことをはじめ、進行役を仰せつかりました私の手落ちにより皆様にご迷惑を多々おかけしましたことを、誌面を借りましてお詫び申し上げます。

先生におかれましては、最終講義を終えられ、めでたくご退職を迎えられ、今後は悠々自適の生活をお考えかとも思います。しかしながら、本学をめぐる学内外の状況の厳しさを考えると、ご退職後も益々先生のご助言を必要とする機会が増えることと思われます。今後とも、ご自愛下さり、健康を保たれ、後進の指導をお続け下さるようお願い申し上げます。



## 平成10年度前期行事予定

- 4. 6(月) 入学式(学部・大学院)
- 4. 7(火) 新入生ガイダンス・アドバイザー面談
- 4. 8(水) 校医講演・新入生健康診断・新入生奨学金ガイダンス
- 4. 9(木) 前期授業開始  
健康診断(新入生以外の学生・教職員の女子)
- 4.10(金) 薬学総合演習オリエンテーション
- 4.14(火) 健康診断(新入生以外の学生・教職員の男子)
- 4.17(金) 前期選択科目・選択必修科目履修届提出締切 午後3時(教務課)
- 4.23(木) 第83回薬剤師国家試験合格者発表(厚生省)
- 4.30(木) 臨時休業(特別休日)
- 5. 1(金) 臨時休業(創立記念日の振替休日)
- 5. 9(土) 創立記念日(休業)
- 5.15(金) 新入生歓迎会(五月祭)[午後臨時休講]
- 6.20(土) 学生会球技大会
- 7. 8(水) 前期授業終了
- 7. 9(木) }  
前期授業予備日
- 7.10(金)
- 7.13(月) }  
前期定期試験
- 7.24(金)
- 7.27(月) 前期定期試験欠席届提出締切 午後1時(教務課)
- 8.20(木) 平成11年度大学院修士課程入学試験
- 8.24(月) }  
特別試験
- 9. 4(金)
- 8.25(火) 前期再試験受験者発表(4年次生)
- 8.27(木) 平成11年度大学院修士課程入学試験合格者発表
- 9. 1(火) }  
前期再試験(4年次生・1~4年次全科目)
- 9.18(金)
- 9. 4(金) 前期再試験受験者発表(1~3年次生)
- 9. 9(水) }  
前期再試験(1~3年次生)
- 9.25(金)
- 9.21(月) 後期授業開始(4年次生)
- 9.25(金) 就職ガイダンス(3年次生)
- 9.28(月) 後期授業開始(1~3年次生)

## 平成10年度公開教育講座

### 第16回公開教育講座

「高度医療社会での薬剤師の役割(3)  
—循環器疾患とその治療の最前線—」  
開催日時：平成10年5月16日(土)  
開催場所：大阪薬科大学 講堂

香川医科大学教授 薬理学 安部 陽一  
国立大阪病院総合内科部長 今泉 昌利  
(大阪薬科大学非常勤講師)

### 第17回公開教育講座

「高度医療社会での薬剤師の役割(4)  
—腎疾患とその治療の最前線—」  
開催日時：平成10年7月18日(土)  
開催場所：大阪薬科大学 講堂  
浜松医科大学助教授 第一内科学 菱田 明  
大阪市立総合医療センター  
内科・透析部副部長 今西 政仁

### 第18回公開教育講座

「高度医療社会での薬剤師の役割(5)  
—新しい概念に基づいた薬の開発とその評価—」  
開催日時：平成10年10月17日(土)  
開催場所：大阪薬科大学 講堂  
武田薬品工業(株) DDS 研究所長 小川 泰亮  
東京都立府中療育センター副院長 別府 宏樹

### 第19回公開教育講座

「高度医療社会での薬剤師の役割(6)  
—アレルギー疾患とその治療の最前線—」  
開催日時：平成11年2月20日(土)  
開催場所：大阪薬科大学 講堂  
(演者等未定)

## 平成10年度市民講座

### 第5回市民講座

開催日時：平成10年6月6日(土)  
開催場所：大阪薬科大学 講堂  
定員：約350名(先着順)  
演題等：【環境問題について】  
「ダイオキシンによる環境汚染と人体への影響」  
摂南大学薬学部教授 食品衛生学 宮田 秀明  
【生活習慣病について】  
「生活習慣病としてみた動脈硬化症—特に、  
高脂血症を中心として—」  
(財)日本生命済生会附属日生病院副院長 秋岡 壽  
(大阪薬科大学非常勤講師)

その他：『薬用植物園の見学』  
『くすりの相談室』

第一線で活躍中の薬剤師が、日頃のくすりに関する悩みや疑問点などの相談に応じます。

### 第6回市民講座

開催日時：平成10年11月14日(土)  
開催場所：大阪薬科大学 講堂  
定員：約350名(先着順)  
演題等：詳細未定  
その他：『薬用植物園の見学』  
『くすりの相談室』

# 平成9年度卒業者の進路状況並びに 平成10年度卒業予定者の進路希望調査状況

## 就 職 部

### ●「平成9年度卒業生（第45期生）進路状況」について

21世紀を目前にひかえ、転換期に立つ景気が今後どうなるのか懸念される中、薬学生を取り巻く就職戦線は年と共に激化している様であります。

このような中で、平成10年3月13日卒業の第45期生、341名（男106名、女235名）についての進路状況を表Ⅰ（平成10年3月31日現在）としてまとめ、就職状況を報告させていただきます。

- 1) 薬業関連企業への就職は、男子希望者数39名に対し、就職決定者37名で、女子の希望者54名に対し、決定者57名（106%）ですが、とりわけ、内勤領域（研究・開発、学術、品質管理、管理薬剤師）への就職決定が益々狭き門となっております。一方、女子医薬情報担当者（Medical Representatives: MR）は、年々増加の傾向にあります。
  - 2) 病院、診療所など医療機関への就職は、希望者数男女計138名に、決定者84名（61%）で、医薬分業の進展に比例して、医療機関（病院）への就職は益々狭き領域になっています。
  - 3) 薬局・小売業などへの就職は希望者数男女計25名に、決定者は64名（256%）で売手市場のフォローの風が吹いております。
  - 4) 公務員職域では希望者数27名に、決定者は11名（41%）、大学院への進学は、希望者数44名に、決定者42名となりました。
  - 5) その他44名の内訳の中で薬剤師免許取得を第一義と考える学生の増加が見られ、薬剤師免許取得後で就職状況を見ますと、平成8年度卒業者289名の就職はほぼ100%の就職率を示しております。
- 一方、大学院生（27名）の就職は各担当教員の指導のもと、100%の就職率ですが、職種内容の多様化で、「数」より「質」を優先する厳選採用の流れは、さらに強まっております。

表Ⅱには、これら就職先の詳細を第22期大学院修了生（平成10年3月修了）とともにまとめ表しました。〈表中（ ）は大学院生〉

### ●「平成10年度卒業予定者（第46期生）の進路希望調査状況」について

平成10年度に入り、昭和48年度より続いておりました大学と企業との就職協定が24年ぶりに廃止され、「協定なき就職戦線」2年目が始まりました。

この就職協定の廃止、就職意欲の著しい変化に対応すべく新4年次生に、早目の就職ガイダンス（既に3回実施）と学生一人ひとりの個性にあった職種の選択を意図して、『個人面談』を3月4日、6日、25日、26日の4日間行いました。この『個人面談』は、平成2年以後歴代就職部長により行われていまして、製薬企業、医療機関関係者の方々との感触などを交えながら、有意義な就職活動を目指すべく、企業の名前やイメージにとらわれることなく、自己の能力や適性に合った就職先の分析の必要性などについて面談を通じて指導しております。

表Ⅲは『個人面談』による進路希望調査状況で、現4年次在籍学生は300名（男子87名、女子213名）と昨年度に比べて少ないですが、薬学生をとりまく就職戦線の激化により、各学生諸君の就職希望状況に合致した満足いく就職結果が得られるかどうか厳しい状況です。取り分け、『個人面談』などでも見られました女子の薬業関連企業（営業、内勤）への就職希望者数の増加が特徴的で、これら企業などへの就職は医薬品業界の厳しさをみますに大きな転換期かと考えられます。

本年度の就職活動は、すでに4月頃より製薬企業と一部調剤薬局訪問の開始で活発化して、昨年度にも増して深刻な就職戦争になっております。

本年度の就職状況の特徴で、予測されたように企業の内勤領域あるいは病院薬剤師の就職内定者の激減と、調剤薬局、ドラッグストアーなどへの求人数の増加など、学生の希望状況に相反して大きなギャップが見られます。

さらに、近年、これら就職に際して企業は勿論のこと病院、薬局などにおいても学生の目的意識やマナーなどが重視され、今後の学生諸君に対する就職指導への重要項目かと考えられます。

何れにしても、就職は人生を左右する重大事であ

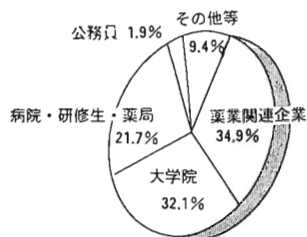


り、就職に関し学生諸君自らの努力は勿論のこと、各家庭との連絡、協力の必要性が痛感されます。

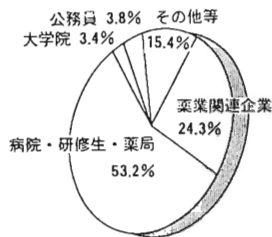
表 I 平成9年度卒業生(45期生)進路状況

(平成10年3月31日現在)

区 分	男子	%	女子	%	合計	%
薬業関連企業(営業)	28	26.4%	26	11.1%	54	15.8%
(内勤)	9	8.5%	31	13.2%	40	11.7%
病院・診療所	6	5.7%	64	27.2%	70	20.5%
研修生			14	6.0%	14	4.1%
薬局・小売	17	16.0%	47	20.0%	64	18.8%
公務員・教職員	2	1.9%	9	3.8%	11	3.2%
大学院	34	32.1%	8	3.4%	42	12.3%
編入・留学			2	0.9%	2	0.6%
その他	10	9.4%	34	14.5%	44	12.9%
合計	106	100.0%	235	100.0%	341	100.0%



男子(106名)



女子(235名)

表 II 平成9年度(45期生)進路・進学内定一覧

(平成9年3月31日現在)

[営業]	男子	女子	合計
1 エーザイ	2	1	3
2 大塚製薬	0	2	2
3 キッセイ薬品工業	0	1	1
4 キョーリン製薬	1	0	1
5 グラクソ三共	1	1	2
6 興和	1	0	1
7 三共	1(1)	0	1(1)
8 清水製薬	0	0(1)	1(1)
9 ゼネカ薬品	0	1	1
10 第一製薬	1	0	1
11 大正製薬	1	0	1
12 ダイナボット	0	2	2
13 大日本製薬	1	0	1
14 武田薬品工業	0	2	2
15 田辺製薬	3	1	4
16 中外製薬	3(1)	0	3(1)
17 東京田辺製薬	1	0	1
18 富山化学工業	1	0	1

19 日本イーライリリー	0	2	2
20 日本ウエルカム	0	1	1
21 日本ベリンガーインゲルハイム	2	1	3
22 日本レダリー	2	1	3
23 日本ロシュ	0	1	1
24 ノバルティスファーマ	0(1)	1	1(1)
25 バイエル薬品	0	2	2
26 萬有製薬	0	3	3
27 久光製薬	1	0	1
28 藤沢ファイソンス	0	1	1
29 藤沢薬品工業	2	0	2
30 丸石製薬	0	2	2
31 ヤクルト本社	1	0	1
32 山之内製薬	3	0	3
合計	28(3)	26(1)	54(4)

[内勤・研究]

	男子	女子	合計
1 尼崎化学合成	1	0	1
2 天藤製薬	0(1)	0	0(1)
3 上野製薬	0	2	2
4 小野薬品工業	0	1	1
5 オフテクス	0	1	1
6 カーヤ	1	0	1
7 片山化学工業	0	1	1
8 京都微生物研究所	1	0	1
9 協和発酵工業	0	1	1
10 クインタイルズ・アジア・インク	0	1	1
11 健栄製薬	0	1	1
12 小西製薬	0	1	1
13 堺化学工業	0	1	1
14 サラヤ	1	1	2
15 沢井製薬	0(1)	0	0(1)
16 三共	0	1	1
17 三星堂	0	1	1
18 参天製薬	0(1)	0	0(1)
19 シオエ製薬	0	1	1
20 千寿製薬	2	1	3
21 第一製薬	0	1	1
22 大洋薬品販売	0	1	1
23 東和薬品	1	0	1
24 ニチバン	1	0	1
25 日産化学	0(1)	0	0(1)
26 日本イーライリリー	0	0(1)	0(1)
27 日本感光色素研究所	1	0	1
28 日本グラクソ	0(1)	0	0(1)
29 日本新薬	0	1	1
30 日本製薬	0	1	1
31 日本粉末薬品	0	1	1
32 日本メジフィジックス	0	1	1
33 バイエル薬品	0	0(1)	0(1)
34 パレクセル・インターナショナル	0	1	1
35 萬有製薬	0(1)	0	0(1)
36 菱山製薬	0	1	1

37	微生物化学研究所	0(1)	0	0(1)	42	メディアック(ひまわり薬局)	0	1	1
38	藤本製薬	0	1(1)	1(1)	43	ヤクシン	0	1	1
39	扶桑薬品工業	0	1	1	44	ユタカファーマシー	0	2	2
40	丸石製薬	0(1)	2	2(1)	45	リゲルコーポレーション	0	2	2
41	三菱電機	0	1	1					
42	ミドリ十字	0	0(1)	0(1)		合計	17(1)	47(2)	64(3)
43	明治製薬	0	1	1					
44	山之内製薬	0	1	1					
45	ロート製薬	0	1	1					
	合計	9(8)	31(4)	40(12)					

[薬局]

	男子	女子	合計		男子	女子	合計		
1	アベックス(やすらぎ桜橋薬局)	0	1	1	1	青山第二病院	0	1	1
2	育星会	0	1	1	2	飯塚病院(麻生セメント)	0	1	1
3	大塚薬局	0	1	1	3	池田病院(東大阪市)	0	1	1
4	関西メディコ	0	1	1	4	池田病院(鹿児島県)	1	0	1
5	協栄物産	1	0	1	5	石切生喜病院	0	1	1
6	協和商事(オーエス薬局)	0	1	1	6	一ノ瀬病院(広島市)	0	1	1
7	キリン堂	1	1	2	7	井野病院	0	1	1
8	クラフト	1	6	7	9	茨木医誠会病院	0	1	1
9	コクミン	2	0	2	10	今里胃腸病院	0	1	1
10	サカエ・レディー薬局	1	0	1	11	大阪医科大学附属病院	0	1	1
11	サンドラッグ	0	1	1	12	大阪赤十字病院	0(1)	0	0(1)
12	サンプラザ加地	0	1	1	13	大阪第二警察病院	1	0	1
13	白菊調剤薬局	0	0(1)	0(1)	14	大野記念病院	0	1	1
14	白沢ドラック	0	1	1	15	河内総合病院	0	1	1
15	スギヤマ薬局	1	0	1	16	関西記念病院	0	1	1
16	スギヤマ薬品	1	0	1	17	京都木津川病院	0	1	1
17	すずらん薬局	0	1	1	18	協和会病院	0	2	2
18	セガミメディクス	2	1	3	19	近畿大学医学部附属病院	0	3	3
19	セラフィ	1	0	1	20	厚生会第一病院	0	1	1
20	総合メディカル	1	1	2	21	弘善会病院	0(1)	0	0(1)
21	ダイエー	0	1	1	22	さいわい病院	0	1	1
22	ダイコク薬品	0	2	2	23	下市病院	0	1	1
23	タキヤ商事	0	1	1	24	城東中央病院	0	1	1
24	チェーンストアオークワ	0	1	1	25	白石記念病院	0	1	1
25	中央薬局	0	1	1	26	新生病院	0	1	1
26	ティオーファーマシー	0(1)	0(1)	0(2)	27	正和病院	0	1	1
27	ディアイラン	0	1	1	28	大正病院	0	1	1
28	ティエスプラン	0	1	1	29	高井病院	0	1	1
29	東光第一薬局	1	0	1	30	鷹の子病院	0	1	1
30	東洋薬局	0	1	1	31	高の原中央病院	0	1	1
31	ナガタ薬品	0	1	1	32	多根総合病院	0	1	1
32	ナカノメディカル	0	1	1	33	中濃病院(岐阜県)	0	1	1
33	阪神調剤薬局	0	6	6	34	寺岡整形外科病院	0	1	1
34	ヒグチ産業	1	0	1	35	寺元記念病院	0	1	1
35	フォルサム	1	1	2	36	天理よろづ相談所病院	0	1	1
36	プレひまわり	1	0	1	37	徳洲会病院	1	3	4
37	プラザ薬局	1	0	1	38	鳥取生協病院	1	0	1
38	ヘルシー21スミヨシ薬局	0	2	2	39	富永脳神経外科病院	0	2	2
39	ぼぶら薬局	0	1	1	40	鳥潟病院	0	1	1
40	まこと薬局(岩国市)	0	1	1	41	土庫病院	0	1	1
41	みどり薬局	0	1	1	42	馬場記念病院	0	1	1
					43	東成病院	0	2	2
					44	兵庫医科大学病院	1	1	2
					45	福井県済生会病院	0	1	1
					46	藤田病院	0	1	1
					47	府中病院	1	2	3

48	ベリタス病院	0	2	2
49	ベルランド総合病院	0	3	3
50	三船病院（香川県）	0	1	1
51	山口若宮病院	0	1	1
52	行岡病院	0	2	2
53	ユニチカ中央病院	0	1	1
54	淀井病院	0	1	1
55	淀川キリスト教病院	0	2	2
56	若弘会病院 .....	0	1	1
57	大阪府赤十字血液センター	0	1	1
合 計		6(2)	64	70(2)

[公務員]

1	宮崎医科大学医学部附属病院 .....	男子	女子	合計
		0(1)	0	0(1)
2	愛媛県	0	1	1
3	大阪府	1	0	1
4	奈良県	0	1	1
5	兵庫県立高齢者脳機能研究センター .....	0(1)	0	0(1)
6	泉大津市立病院	0	1	1
7	大阪市	1	1	2
8	高知市 .....	0	1	1
9	大淀町立大淀病院	0	1	1
合 計		2(2)	6	8(2)

[大学教員]

1	大阪薬科大学	男子	女子	合計
		0	1(2)	1(2)
2	香川医科大学	0	1	1
3	関西医科大学	0	1	1
合 計		0	3(2)	3(2)

[研修生]

1	愛媛大学医学部附属病院	男子	女子	合計
		0	1	1
2	大阪大学医学部附属病院	0	5	5
3	京都大学医学部附属病院	0	3	3
4	京都府立医科大学附属病院	0	1	1
5	名古屋大学医学部附属病院	0	1	1
6	北海道大学医学部附属病院	0	1	1
7	山口大学医学部附属病院	0	1	1
8	和歌山県立医科大学附属病院	0	1	1
合 計		0	14	14

[大学院]

1	大阪大学（博士課程後期） .....	男子	女子	合計
		0(1)	0	0(1)
2	岡山大学	2	0	2
3	金沢大学	1	0	1

4	徳島大学	1	0	1
.....	.....			
5	静岡県立大学	0	1	1
.....	.....			
6	大阪薬科大学	30	7	37
合 計		34(1)	8	42(1)

[編入・留学]

1	東京医科歯科大学（編入）	男子	女子	合計
		0	1	1
2	留 学	0	1	1
合 計		0	2	2

[その他]

合 計		男子	女子	合計
		10	34(1)	44(1)

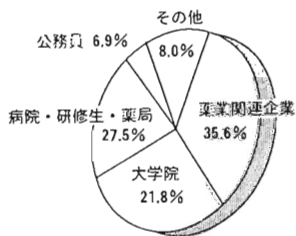
総 合 計

106(17)	235(10)	341(27)
---------	---------	---------

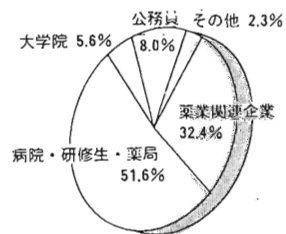
( ) は大学院生

表Ⅲ 平成10年度卒業予定者（46期生）進路希望  
調査状況（平成10年3月26日現在）

区 分	男子	%	女子	%	合計	%
薬業関連企業（営業）	24	27.6%	36	16.9%	60	20.0%
（内勤）	7	8.0%	33	15.5%	40	13.3%
病院・診療所	15	17.2%	60	28.2%	75	25.0%
研修生	2	2.3%	22	10.3%	24	8.0%
薬局・小売	7	8.0%	28	13.1%	35	11.7%
公務員	6	6.9%	17	8.0%	23	7.7%
大学院	19	21.8%	12	5.6%	31	10.3%
自家業・その他	7	8.0%	5	2.3%	12	4.0%
合 計	87	100.0%	213	100.0%	300	100.0%



男子 (87名)



女子 (213名)

## 人 事

併 任 (平成10年4月1日付)

就 職 部 長 沼田 敦 (教授) 任期2年  
図 書 館 長 千熊 正彦 (教授) 任期2年  
研究委員長 玄番 宗一 (教授) 任期1年  
図 書 課 長 北氏 明正 (事務局次長)

特命事項担当 (平成10年4月1日付)

事務局次長 北氏 明正

昇 任 (平成10年1月1日付)

助 教 授 井上 晴嗣 (第一生化学教室)  
助 教 授 田中 麗子 (医薬品化学教室)  
(平成10年4月1日付)  
助 手 浅野 晶子 (第一物理化学教室)  
助 手 小林貴代美 (第二薬化学教室)  
助 手 関 しづか (元素分析室)  
課 長 補 佐 福永 治久 (入試・広報課)  
課 長 補 佐 古本 浩三 (教務課)

採 用 (平成10年4月1日付)

助 手 荒木 理佐  
助 手 幸田 祐佳  
副 手 横浜 理恵

配 置 換 (平成10年4月1日付)

伊藤 美雄 (入試・広報課長, 広報図書課より)  
吉田 弘子 (就職課係長, 学生課より)  
澤田あつ子 (図書課係長, 就職課より)  
高橋 嘉明 (総務課主任, 広報図書課より)  
塚田ひろみ (入試・広報課事務職員, 広報図書課より)

嘱 託 (平成10年4月1日付 期間1年)

柚木 孝士 (校医)  
望月伸三郎 (教授)

出 向 (平成10年3月1日付)

後久 忠雄 (施設課長)

招へい教授 (平成10年4月1日付 期間1年)

宮嶋孝一郎 (客員研究員)  
吉武 彬 (客員研究員)

非常勤講師 (平成10年4月1日付)

秋岡 壽 (臨床医学概論)  
今泉 昌利 (臨床医学概論)  
江口 聡 (人文科学特論3, ドイツ語4)

太田 光熙 (病態生化学)  
大前 実 (臨床生理学)  
奥 正嗣 (社会科学特論1)

片山 善章 (臨床化学)  
木村 文治 (臨床医学概論)

斎藤 武 (数学1)  
塩川 俊男 (裁判化学)

田口 侑男 (数学1)  
巽 典之 (臨床検査総論)

山口 始 (剂形開発学)  
中塚 宗次 (薬事関連法・制度)

中村 益久 (臨床薬理学)  
中山 貞男 (体育実技)

鳴川 六司 (体育実技)  
林 龍平 (人文科学特論1)

古川 恵三 (臨床医学概論)  
前田 義郎 (ドイツ語4, ドイツ語3A)

政田 幹夫 (臨床薬剤学2)  
村田 吉郎 (病態生理学)

山内 真理 (英語1)

客員研究員 (平成10年4月1日付 期間1年)

中村 益久  
太田 光熙  
岩本 千佳

退 任 (平成10年2月28日付)

河野 光次・施設課長 (併任を解く)  
(平成10年3月31日付)

森 逸男・就職部長 (任期満了)

池田 潔・図書館長 (任期満了)

藤田 直・研究委員長 (任期満了)

北氏 明正・教務・学生課に関する特命事項担当

定年退職 (平成10年3月31日付)

望月伸三郎 (教授)

退 職 (平成9年12月31日付)

山崎 修 (嘱託)  
(平成10年1月31日付)

米花 務 (第二薬理学教室助手)  
(平成10年3月31日付)

森本 一洋 (第二薬剤学教室助教授)

米田 龍司 (第一薬品製造学教室助手)

吉村由香里 (第一薬剤学教室助手)

解 嘱 (平成10年3月31日付)

松永 春洋 (教授)

田中 千秋 (教授)  
保坂 康弘 (教授)  
岩本 勉 (助手)

□ 海外出張 □

黒田 和道 助教授 (第二微生物学教室)  
 <出張期間: 平成10年 5月 9日~5月17日>  
 German-Japanese Symposium on Viral and Host Factors as Determinations of Pathogenicity of Viruses (Marburg, Germany) にて発表  
 岩永 一範 助手 (第二薬理学教室)  
 <出張期間: 平成10年 6月 20日~6月28日>  
 The 25th International Symposium on Controlled Release of Bioactive Materials (Las Vegas, USA) にて発表  
 藤田 直 教授 (第一衛生化学教室)  
 <出張期間: 平成10年 7月 25日~8月 2日>  
 The 13th International Congress of Pharmacology (München, Germany) にて発表

名誉教授 (平成10年 4月 1日付)

松永 春洋  
田中 千秋

教室主任事務取扱 (平成10年 4月 1日付)

黒田 和道 (第二微生物学教室)  
大桃 善朗 (第一放射薬品学教室)  
田中 颯子 (医薬品化学教室)

平成10年度 文部省科学研究費補助金採択状況

	職名	氏名	研究種目	研究課題	配分額 (千円)
継続	教授	栗原 拓史	基盤研究(C)	新規ヒスタミンリガンドを目指したイミダゾールC-ヌクレオシドの合成研究	500
	助教授	大桃 善朗	基盤研究(C)	シグマレセプター及びシグマレセプター発現性脳腫瘍の核医学画像診断剤の開発	500
	助手	大石 宏文	基盤研究(C)	PolyamineとZ-DNAの相互作用についての構造科学的研究	500
	教授	千熊 正彦	基盤研究(C)	高選択的塩基認識をもつ複核白金錯体による核酸の微小構造の制御とがん細胞増殖抑制	500
	教授	池田 潔	基盤研究(C)	ホスホリパーゼ類の触媒機構の解明	500
	助教授	春沢 信哉	萌芽的研究	強力なH <sub>3</sub> -アゴニスト活性をもつ新規イミダゾールC-ヌクレオシドの設計と合成	800
	助手	尹 康子	奨励研究(A)	アンジサイクラマイド誘導体のコンフォメーションの安定性と生理活性との相関	500
	助手	友尾 幸司	奨励研究(A)	ホスホリパーゼA <sub>2</sub> の構造化学的研究と特異的阻害剤の開発	800
	助手	佐久間 覚	奨励研究(A)	アラキドン酸由来生理活性物質生成に対する活性窒素種の影響に関する研究	500
	研究生	森野 重信	特別研究員奨励費	ヒト蛋白質合成開始因子4EのmRNAキャップ構造認識機構の解明	1,200
	D3	喜多紗斗美	特別研究員奨励費	エンドセリン-1およびエンドセリン変換酵素の病態生理学的意義	900
新規	助教授	松村 靖夫	基盤研究(C)	高血圧性腎障害におけるエンドセリン-1の役割	1,800
	教授	沼田 敦	基盤研究(C)	海洋生物由来菌類の産生する抗腫瘍性リード化合物の開発と創製	1,700
	助教授	井上 晴嗣	基盤研究(C)	ロイシンリッチリピートを持つホスホリパーゼA <sub>2</sub> 阻害タンパク質の構造と機能	2,900
	助手	高岡 昌徳	基盤研究(C)	高血圧発症過程における血管壁プロテアソームの機能的役割	1,800
	助手	平田 雅彦	奨励研究(A)	癌の診断と治療を目指した新規SPECT用EGFRチロシンキナーゼ活性診断薬の開発	1,300
合計		16人			16,700

平成10年度 研究助成

沼田 敦 (第一薬化学教室教授) (財) 内藤記念科学振興財団「研究助成」(50万円)  
 海洋生物由来菌類の産生する抗腫瘍性物質の探索と開発

# 平成10年度学校法人予算について

事務局長 河野 光 次

学校法人大阪薬科大学の平成10年度予算については、理事会の予算編成方針に基づき、収支の均衡を図るべく、計4回にわたる予算委員会の審議を経て

編成を行ったが、去る平成10年3月24日に開催された理事会および評議員会において承認されたので、消費収支予算書（総括表）を掲載することとしたい。

## 平成10年度消費収支予算書

{平成10年4月1日から  
平成11年3月31日まで}

消費収入の部 (単位 円)				消費支出の部 (単位 円)			
科 目	本年度予算額	前年度予算額	増 減	科 目	本年度予算額	前年度予算額	増 減
学生生徒等納付金	2,362,500,000	2,331,100,000	31,400,000	人 件 費	1,395,900,000	1,354,450,000	41,450,000
手 数 料	88,100,000	85,400,000	△ 2,700,000	教育研究経費	1,083,550,000	860,500,000	223,050,000
寄 付 金	5,000,000	5,000,000	0	管 理 経 費	162,690,000	176,300,000	△ 13,610,000
補 助 金	243,700,000	243,000,000	700,000	借入金等利息	340,600,000	371,600,000	△ 31,000,000
資産運用収入	5,000,000	5,000,000	0	資産処分差額	954,000,000	0	954,000,000
資産売却差額	230,000,000	0	230,000,000	[予 備 費]	10,000,000	10,000,000	0
事業収入	2,000,000	4,000,000	△ 2,000,000	消費支出の部合計	3,946,740,000	2,772,850,000	1,173,890,000
雑収入	65,700,000	22,000,000	43,700,000	当年度消費支出超過額	1,199,740,000	452,350,000	747,390,000
帰属収入合計	3,002,000,000	2,695,500,000	306,500,000	前年度繰越消費支出超過額	2,534,000,000	2,237,000,000	297,000,000
基本金組入額合計	△ 255,000,000	△ 375,000,000	120,000,000	翌年度繰越消費支出超過額	3,733,740,000	2,689,350,000	1,044,390,000
消費収入の部合計	2,747,000,000	2,320,500,000	426,500,000				

## 第83回薬剤師国家試験の結果と分析

前薬剤師国家試験対策委員長 稲 森 善 彦  
副委員長 中 元 安 雄

平成10年3月28日、29日の2日間に渡って第83回薬剤師国家試験が行われた。その内容の分析を表1に示した。これは私の独断と偏見によるものである。昨年と比較してバランス的(偏り)に大きな差は見られないが、出題の難易度に大きな差があるように思える。即ち基礎薬学については、かなりの基礎学力(理解度)が要求され、衛生薬学では、保健、衛生環境などに幅広い知識が求められ、出題数が50%

を占める医療薬学においては、臨床(職能)を重視したと思える難しい問題であり、またいずれの分野にも選択肢の増加が見うけられた。以上の点から、今回の問題は、昨年と比較して基礎学力を重視し、薬剤師として必要な知識、技能を評価する出題であるとの感を否めない。次にその結果についてであるが、表2から明らかなように、私学29校中26位(新卒)であり、非常に悪い結果であった。これは効果

平成9年度保健室利用状況

(H.9.4.1. ~ H.10.3.31)

月	利用者数			利用内容					
	学生	教職員	計	外科系	内科系	健康指導・相談	休養	転送	計
4	122	27	150	24	36	86	4	0	150
5	379	25	404	21	52	312	18	1	404
6	356	19	375	44	45	267	19	0	375
7	247	27	274	19	41	206	8	0	274
8	44	4	48	5	12	30	0	1	48
9	217	13	230	25	32	158	14	1	230
10	158	37	195	34	52	102	7	0	195
11	158	19	177	45	43	76	12	1	177
12	110	16	126	20	41	51	14	0	126
1	54	33	87	6	38	41	2	0	87
2	47	26	73	9	30	30	4	0	73
3	55	26	51	9	20	19	3	0	51
合計	1,918	272	2,190	261	442	1,378	105	4	2,190

外科系 → ガーゼ交換・湿布交換を含む。

健康指導・相談 → 健康診断受診証明の発行・検尿・血圧測定等を含む。

平成10年度学生定期健康診断受診状況 (4/8, 9, 14)

※全項目受診者数

区分	1年次生	2年次生	3年次生	4年次生	M 1	M 2	D 1	D 2	D 3	総計
男子	$\frac{97}{99}$	$\frac{3}{116}$	$\frac{2}{83}$	$\frac{68}{87}$	$\frac{29}{30}$	$\frac{15}{18}$	/	/	$\frac{1}{1}$	$\frac{215}{434}$
女子	$\frac{202}{203}$	$\frac{18}{262}$	$\frac{3}{206}$	$\frac{202}{213}$	$\frac{4}{8}$	$\frac{2}{4}$	/	/	$\frac{0}{1}$	$\frac{431}{897}$
計	$\frac{299}{302}$	$\frac{21}{378}$	$\frac{5}{289}$	$\frac{270}{300}$	$\frac{33}{36}$	$\frac{17}{22}$	/	/	$\frac{1}{2}$	$\frac{646}{1,331}$
受診率	99.0% <98.6>	5.6% <2.4>	1.7% <3.1>	90.0% <93.0>	91.7% <76.0>	77.3% <89.3>	— <—>	— <100>	50% <100>	48.5% <53.6>

<>内は前年

平成10年度胸部X線受診状況 (4/8, 9, 14)

区分	1年次生	2年次生	3年次生	4年次生	M 1	M 2	D 1	D 2	D 3	総計	教職員
男子	$\frac{97}{99}$	$\frac{4}{116}$	$\frac{2}{83}$	$\frac{68}{87}$	$\frac{29}{30}$	$\frac{15}{18}$	/	/	$\frac{1}{1}$	$\frac{216}{434}$	$\frac{47}{78}$
女子	$\frac{202}{203}$	$\frac{20}{262}$	$\frac{5}{206}$	$\frac{202}{213}$	$\frac{8}{8}$	$\frac{3}{4}$	/	/	$\frac{1}{1}$	$\frac{441}{897}$	$\frac{13}{32}$
計	$\frac{299}{302}$	$\frac{24}{378}$	$\frac{7}{289}$	$\frac{270}{300}$	$\frac{37}{38}$	$\frac{18}{22}$	/	/	$\frac{2}{2}$	$\frac{657}{1,331}$	$\frac{60}{110}$
受診率	99.0% <98.9>	6.3% <2.7>	2.4% <3.7>	90.0% <93.0>	97.4% <76.0>	81.8% <89.3>	— <—>	— <100>	100% <100>	49.4% <53.8>	54.5% <54.7>

## 平成11年度 入 学 試 験 概 要

	推薦入試(一般公募制) (S方式)	センター試験利用入試 (C方式)	一般入試 (F方式)	一般入試 (G方式)	帰国生徒特別選抜入試 (K方式)
募集人員(薬学部)	60名	20名	80名	80名	若干名
出願開始日	平成10年11月2日(月)	平成11年1月7日(木)	平成11年1月7日(木)	平成11年1月7日(木)	平成10年11月2日(月)
出願締切日	平成10年11月10日(火) 郵送	平成11年1月18日(月) 郵送 平成11年1月19日(火) 持参	平成11年1月26日(火) 郵送 平成11年1月27日(水) 持参	平成11年2月3日(水) 郵送 平成11年2月4日(木) 持参	平成10年11月10日(火) 郵送
入学試験日	平成10年11月15日(日)	平成11年1月16日(土) 平成11年1月17日(日)	平成11年2月1日(日)	平成11年2月9日(火)	平成10年11月15日(日)
合格発表日	平成10年12月1日(火)	平成11年2月7日(日)	平成11年2月7日(日)	平成11年2月16日(火)	平成10年12月1日(火)
入学手続締切日	平成10年12月21日(月) (一括方式)	1次 平成11年2月23日(火) 2次 平成11年3月23日(火) (2段階方式)	1次 平成11年2月23日(火) 2次 平成11年3月23日(火) (2段階方式)	1次 平成11年2月23日(火) 2次 平成11年3月23日(火) (2段階方式)	平成10年12月21日(月) (一括方式)
試験場	本 学		本 学・大阪予備校	本 学・大阪予備校	本 学
試験内容 (時間・配点)	[総合科目] 120分 100点 [小論文] 90分 50点 [調査書] 全体の評定平均値 50点  200点満点及び提出書類を参考に判定する	[数 学] 100点 数学Ⅰ・数学A 100点 数学Ⅱ・数学B 100点  [外国語] 200点 英語 200点  [国 語] 200点 国語Ⅰ、国語Ⅰ・国語Ⅱ から1科目選択 200点  [理 科] 200点 化学ⅠB、生物ⅠB、物理ⅠB のうち最高得点科目を採用 100点×2 200点  大学の個別試験は課さない  800点満点で判定する	[数 学] 75点 75点 数学Ⅰ 数学Ⅱ 数学A(数と式、数列) 数学B(ベクトル)  [外国語] 75点 75点 英語Ⅰ 英語Ⅱ リーディング ラインティング  [理 科] 100点 100点 化学(化学ⅠB、化学Ⅱ) 生物(生物ⅠB、生物Ⅱ) から1科目選択(受験時)  [調査書] 150点 (数学、外国語、理科の評定平均値 各25点) (全体の評定平均値 75点)  400点満点で判定する	[数 学] 90分 100点 数学Ⅰ 数学Ⅱ 数学A(数と式、数列) 数学B(ベクトル)  [外国語] 90分 100点 英語Ⅰ 英語Ⅱ リーディング ラインティング  [理 科] 100点 100点 化学(化学ⅠB、化学Ⅱ) 生物(生物ⅠB、生物Ⅱ) から1科目選択(受験時)	[総合科目] 120分 [小論文] 90分 [面接]  総合科目、小論文、面接、提出書類を 総合して判定する
入学検定料	35,000円	20,000円	35,000円	35,000円	35,000円
学科配属	薬学部一括で募集する(配属学科は学年進行後に決定する)				



## 平成10年度 入学試験結果

	推薦入試	一般入試C方式	一般入試G方式
募集人員	70名	20名	150名
志願者	225名	1,012名	1,701名
受験者	222名	1,012名	1,567名
合格者数	73名	224名	492名
入学者	73名	31名	191名
入学者数合計		295名	

### 図書館だより

#### ◆ 図書館利用状況について

過去5年間（平成5年度～平成9年度）における図書館の入館者数・貸出冊数は次の通りですお知らせします。

#### 入館者数

年度	1年次	2年次	3年次	4年次	院 生	教職員	外来者	合 計
5	2,642	2,804	1,368	2,469	1,265	2,193	86	12,827
6	5,619	2,993	5,087	4,011	2,085	2,965	100	22,861
7	3,972	4,231	2,259	5,092	1,622	2,761	101	20,038
8	5,966	9,398	15,772	24,466	5,632	6,611	478	68,323
9	8,332	4,776	13,354	18,653	4,269	6,039	323	55,746

・平成7年度～平成8年2月19日から3月31日の期間休館

#### 貸出冊数

年度	学 生	教 職 員	合 計
5	3,010	1,310	4,320
6	3,966	1,107	5,073
7	3,983	1,033	5,016
8	4,539	1,053	5,592
9	3,783	1,040	4,823

#### ◆ 寄贈図書について

このたび、下記図書のご寄贈がありました。お志に感謝し、大切に利用してください。

（平成9年度登録分）

○故福富正実氏（元阪南大学教授）のご遺族から下記蔵書の寄贈がありました。

ヘーゲル全集	全20巻
柳宗悦全集	全25巻
石母田正著作集	全16巻
（講座）社会科学の方法	全12巻
（講座）現代思想	全16巻
（シリーズ）海と列島文化	全11巻

○森本一洋 元本学助教授

「岩波理化学辞典第5版」1冊

○同窓会 「医療薬日本医薬品集」他55冊

○公開教育講座委員会 「薬事関係法規」他1冊

○望月伸三郎 教授 「フォレスト・ガンブ」他2冊

○阿部 功 助教授

「21世紀の地域像～都市と空港の文明論」1冊

○松村瑛子 助教授 「動物の細胞組織」他3冊

○藤田芳一 助教授 「教養の現代化学」1冊

○濱中久美子 助教授 「女盗賊プーラン」他18冊

○三谷佐孝 助教授 「微積分」1冊

○春澤信哉 助教授

「ソロモンの新有機化学第4版」他2冊

以上のほかにも多数ご寄贈がありました。

誌面を借りて謝意を表します。

平成10年度  
各部・委員会・委員一覧

◎各部署の長  
(平成10年5月12日現在)

教務部

藤田 芳一 (助教授)  
松村 靖夫 (助教授)

◎栗原 拓史 (教授)  
濱中久美子 (助教授)

学生部

望月伸三郎 (教授)  
松村 瑛子 (助教授)  
土井 光暢 (助教授)  
安田 正秀 (講師)

◎坂田 勝治 (教授)  
馬場きみ江 (助教授)  
大桃 善朗 (助教授)  
楠瀬 健昭 (助教授)

就職部

稲森 善彦 (教授)  
土井 光暢 (助教授)

◎沼田 敦 (教授)  
藤本 陽子 (助教授)

図書館

赤木 昌夫 (助教授)  
松村 靖夫 (助教授)  
井上 晴嗣 (助教授)

◎千熊 正彦 (教授)  
松島 哲久 (助教授)  
大桃 善朗 (助教授)

広報委員会

沼田 敦 (教授)  
栗原 拓史 (教授)  
千熊 正彦 (教授)  
伊藤 美雄 (入試・広報課長)  
藤田 純生 (学生課長)  
高橋 嘉明 (総務課主任)

◎岡 源郎 (学長)  
藤田 直 (教授)  
坂田 勝治 (教授)  
掛見 正郎 (教授)  
内田 勝彦 (就職課長)  
古本 浩三 (教務課長)

人権委員会

沼田 敦 (教授)  
阿部 功 (助教授)  
松島 哲久 (助教授)

◎坂田 勝治 (教授)  
栗原 拓史 (教授)  
加藤 義春 (助教授)  
藤田 純生 (学生課長)

自己評価委員会

沼田 敦 (教授)  
玄番 宗一 (教授)  
土井 勝 (教授)  
坂田 勝治 (教授)  
藤田 芳一 (助教授)

◎岡 源郎 (学長)  
栗原 拓史 (教授)  
稲森 善彦 (教授)  
石田 寿昌 (教授)  
千熊 正彦 (教授)  
河野 光次 (事務局長)

環境保全委員会

藤田 直 (教授)  
稲森 善彦 (教授)  
濱中久美子 (助教授)

◎石田 寿昌 (教授)  
池田 潔 (教授)  
木村捷二郎 (助教授)  
黒田 和道 (助教授)

齊藤 睦弘 (講師)  
喜多 俊二 (助手)  
後久 忠雄 (施設課長)  
鶴田 政樹 (施設課員)

高岡 昌徳 (助手)  
宇佐美吉英 (助手)  
増家 博 (学生課主任)

防火対策委員会

森 逸男 (教授)  
玄番 宗一 (教授)  
河野 光次 (事務局長)  
高橋 正好 (教務課長)  
藤田 純生 (学生課長)

◎岡 源郎 (学長)  
栗原 拓史 (教授)  
坂田 勝治 (教授)  
北氏 明正 (事務局次長・図書課長)  
松尾 真充 (総務課長)  
後久 忠雄 (施設課長)

省エネルギー委員会

栗原 拓史 (教授)  
坂田 勝治 (教授)  
後久 忠雄 (施設課長)

◎岡 源郎 (学長)  
玄番 宗一 (教授)  
河野 光次 (事務局長)

薬用植物園

沼田 敦 (教授)  
木村捷二郎 (助教授)  
田中 麗子 (助教授)  
喜多 俊二 (助手)  
芝野真喜雄 (助手)

◎草野源次郎 (教授)  
馬場きみ江 (助教授)  
三野 芳紀 (助教授)  
西野 隆雄 (講師)  
谷口 雅彦 (助手)  
後久 忠雄 (施設課長)

実験動物センター運営委員会

池田 潔 (教授)  
掛見 正郎 (教授)  
松村 靖夫 (助教授)  
西野 隆雄 (講師)

◎藤田 直 (教授)  
玄番 宗一 (教授)  
松村 瑛子 (助教授)  
安田 正秀 (講師)

総務委員会

森 逸男 (教授)  
栗原 拓史 (教授)  
石田 寿昌 (教授)  
千熊 正彦 (教授)

◎岡 源郎 (学長)  
沼田 敦 (教授)  
土井 勝 (教授)  
坂田 勝治 (教授)  
河野 光次 (事務局長)

施設委員会

森 逸男 (教授)  
栗原 拓史 (教授)  
稲森 善彦 (教授)  
石田 寿昌 (教授)  
河野 光次 (事務局長)

◎岡 源郎 (学長)  
沼田 敦 (教授)  
池田 潔 (教授)  
土井 勝 (教授)  
千熊 正彦 (教授)

研究委員会

馬場きみ江 (助教授)  
土井 光暢 (助教授)

◎玄番 宗一 (教授)  
黒田 和道 (助教授)

入試委員会

栗原 拓史 (教授)

◎岡 源郎 (学長)  
土井 勝 (教授)

- |                   |              |                 |                |
|-------------------|--------------|-----------------|----------------|
| 坂田 勝治 (教授)        | 大桃 善朗 (助教授)  | 大桃 善朗 (助教授)     | 安田 正秀 (講師)     |
| 土井 光暢 (助教授)       |              | 松尾 真充 (総務課長)    |                |
| 入試制度委員会           | ◎土井 勝 (教授)   | 組換えDNA実験安全委員会   | ◎石田 寿昌 (教授)    |
| 掛見 正郎 (教授)        | 阿部 功 (助教授)   | 池田 潔 (教授)       | 稲森 善彦 (教授)     |
| 加藤 義春 (助教授)       | 松村 瑛子 (助教授)  | 草野源次郎 (教授)      | 松島 哲久 (助教授)    |
| 藤田 芳一 (助教授)       | 黒田 和道 (助教授)  | 藤本 陽子 (助教授)     | 黒田 和道 (助教授)    |
|                   |              | 大桃 善朗 (助教授)     | 河野 公一 (学外)     |
|                   |              | 松尾 真充 (総務課長)    |                |
| カリキュラム委員会         | ◎石田 寿昌 (教授)  | バイオハザード予防委員会    | ◎稲森 善彦 (教授)    |
| 玄番 宗一 (教授)        | 掛見 正郎 (教授)   | 池田 潔 (教授)       | 松村 瑛子 (助教授)    |
| 加藤 義春 (助教授)       | 藤田 芳一 (助教授)  | 安田 正秀 (講師)      |                |
| 薬学教育検討委員会         | ◎岡 源郎 (学長)   |                 |                |
| 大学院小委員会           | ◎沼田 敦 (教授)   | 情報科学解析センター運営委員会 | ◎石田 寿昌 (教授)    |
| 森 逸男 (教授)         | 千熊 正彦 (教授)   | 栗原 拓史 (教授)      | 玄番 宗一 (教授)     |
|                   |              | 土井 勝 (教授)       | 坂田 勝治 (教授)     |
|                   |              | 千熊 正彦 (教授)      | 掛見 正郎 (教授)     |
| 薬剤師国家試験対策委員会      | ◎中元 安雄 (助教授) | 土井 光暢 (助教授)     | 大石 宏文 (助手)     |
| 稲森 善彦 (教授)        | 赤木 昌夫 (助教授)  | 北氏 明正 (図書課長)    | 伊藤 美雄 (広報課長)   |
| 松村 靖夫 (助教授)       | 大桃 善朗 (助教授)  | 高橋 正好 (教務課長)    | 藤田 純生 (学生課長)   |
| 井上 晴嗣 (助教授)       | 安田 正秀 (講師)   | 古本 浩三 (教務課長)    | 澤田 あつ子 (図書課係長) |
| 齊藤 陸弘 (講師)        |              | 高橋 嘉明 (総務課主任)   |                |
| 医療薬学実習委員会         | ◎掛見 正郎 (教授)  | 大型共同機器整備計画委員会   | ◎玄番 宗一 (教授)    |
| 千熊 正彦 (教授)        | 赤木 昌夫 (助教授)  | 森 逸男 (教授)       | 沼田 敦 (教授)      |
| 中元 安雄 (助教授)       | 三野 芳紀 (助教授)  | 藤田 直 (教授)       | 池田 潔 (教授)      |
| 松村 靖夫 (助教授)       | 西野 隆雄 (講師)   | 土井 勝 (教授)       | 馬場きみ江 (助教授)    |
|                   |              | 黒田 和道 (助教授)     | 大桃 善朗 (助教授)    |
| R I 施設運営委員会       | ◎木村捷二郎 (助教授) | 交通整備委員会         | ◎岡 源郎 (学長)     |
| 藤田 直 (教授)         | 玄番 宗一 (教授)   | 栗原 拓史 (教授)      | 坂田 勝治 (教授)     |
| 稲森 善彦 (教授)        | 石田 寿昌 (教授)   | 河野 光次 (事務局長)    |                |
| 千熊 正彦 (教授)        | 草野源次郎 (教授)   |                 |                |
| 掛見 正郎 (教授)        | 松村 靖夫 (助教授)  | 修学指導委員会         | ◎岡 源郎 (学長)     |
| 黒田 和道 (助教授)       | 大桃 善朗 (助教授)  | 沼田 敦 (教授)       | 稲森 善彦 (教授)     |
| 河野 光次 (事務局長)      |              | 石田 寿昌 (教授)      | 坂田 勝治 (教授)     |
| 公開教育講座委員会         | ◎掛見 正郎 (教授)  | 学歌選定委員会         | ◎岡 源郎 (学長)     |
| 玄番 宗一 (教授)        | 阿部 功 (助教授)   | 大村栄之助 (理事長)     | 望月伸三郎 (教授)     |
| 辻坊 裕 (助教授)        | 井上 晴嗣 (助教授)  | 松村 瑛子 (助教授)     | 濱中久美子 (助教授)    |
| 西野 隆雄 (講師)        |              | 河野 光次 (事務局長)    | 森本 武司 (事務局長)   |
|                   |              | 薬田 稔 (同窓会長)     | 高橋 市子 (同窓会副会長) |
| 市民講座委員会           | ◎藤田 直 (教授)   | 國枝 伸吾 (観学委員会)   | 大江 剛史 (前コース部長) |
| 馬場きみ江 (助教授)       | 中元 安雄 (助教授)  |                 |                |
| 三野 芳紀 (助教授)       | 藤田 芳一 (助教授)  | 予算委員会           | ◎大村栄之助 (理事長)   |
| 西野 隆雄 (講師)        | 伊藤 美雄 (広報課長) | 岡 源郎 (学長)       | 藤田 武司 (理事)     |
| 福永 治久 (入試・広報課長補佐) |              | 沼田 敦 (教授)       | 栗原 拓史 (教授)     |
| 動物実験委員会           | ◎池田 潔 (教授)   | 玄番 宗一 (教授)      | 坂田 勝治 (教授)     |
| 稲森 善彦 (教授)        | 加藤 義春 (助教授)  | 千熊 正彦 (教授)      | 河野 光次 (事務局長)   |
| 馬場きみ江 (助教授)       | 松村 瑛子 (助教授)  | 秋月 延夫 (経理課長)    |                |

# 教員研究業績一覽 (1997年)

(1997. 1. 1 ~ 12. 31)

## 1. 研究學術論文

著者	題目	掲載誌
土井光暢, 石田寿昌, 他	Effect of phenyl ring position in the C $\alpha$ -methylated $\alpha$ -amino acid side chain on peptide preferred conformation	Biopoly, 40, 523-527 (1997)
篠崎史義, 尹 康子, 土井光暢, 石田寿昌, 他	Structural analyses for asymmetric derivatives of ascidiacyclamide by X-ray diffraction and NMR spectroscopy	Peptide Chemistry, 1996, 405-408 (1997)
尹 康子, 長田裕臣, 土井光暢, 石田寿昌	Imidazole-4-acetic acid-picric acid (1/1) complex	Acta Crystallogr., C 53, 367-369 (1997)
尹 康子, 長田裕臣, 土井光暢, 石田寿昌	Anthranilic acid-picric acid (2/1) complex	Acta Crystallogr., C 53, 646-648 (1997)
友尾幸司, 山根篤志, 石田寿昌, 藤井 忍, 池田 潔, 他	X-Ray crystal structure determination and molecular dynamics simulation of pro-phospholipase A <sub>2</sub> inhibited by amide-type substrate analogues	Biochim. Biophys. Acta, 1340, 178-186 (1997)
三原義鉄, 土井光暢, 猪原武男, 石田寿昌	Interaction of mutagenic tryptophan pyrolysate with d(CGATCG) <sub>2</sub> : Interaction model based on NMR experiments	Biochem. Biophys. Res. Commun., 240, 803-806 (1997)
尹 康子, 石田寿昌, 他	Synthesis, structure and quantitative structure-activity relationships of $\sigma$ -receptor ligands, 1-[2-(3,4-dimethoxyphenyl)ethyl]-4-(3-phenylpropyl)piperazines	Bioorg. Med. Chem., 5, 1675-1683 (1997)
石田寿昌, 尹 康子, 林 千麗, 真鍋励次郎	Characterization of an end product in a copper(II)-mediated nonenzymatic reaction of vitamin B <sub>6</sub> with amino acid: X-ray crystal structure of a dimer of Cu(II)·[pyridoxal 5-phosphate-pyridoxamine 5-phosphate schiff base]. 7H <sub>2</sub> O	Bull. Chem. Soc. Jpn, 70, 2375-2381 (1997)
石田寿昌, 尹 康子, 他	First stereoselective total synthesis of macrocarpal C: Structure elucidation of macrocarpal G	Chem. Commun., 2401-2402 (1997)
尹 康子, 林 千麗, 石田寿昌	Metal dependent coordination of biomolecular ligand: X-ray crystal structures of copper, cobalt and calcium complexes of (3-hydroxy-5-(hydroxymethyl)-2-methylisonicotinic acid) 5-phosphate, an oxidized pyridoxal 5-phosphate	Inorg. Chim. Acta, 260, 111-118 (1997)
山元 敦, 原 忠興, 友尾幸司, 石田寿昌	Binding mode of CA074, a specific irreversible inhibitor, to bovine cathepsin B as determined by X-ray crystal analysis of the complex	J. Biochem., 121, 974-977 (1997)

著 者	題 目	掲 載 誌
尹 康子, 石田寿昌, 他	$^1\text{H}$ NMR and X-ray conformational analyses of (+)-corydalic acid methyl ester, a 6,7-secoberbine alkaloid	J. Chem. Soc., Perkin Trans., 2, 631-636 (1997)
石田寿昌, 他	Study on the structures of 2-substituted iminothiazolidine derivatives	J. Heterocyclic Chem., 34, 157-160 (1997)
石田寿昌, 他	Opioid peptide-like activities of fulicin, fulicin gene-related peptides, and their Synthetic Analogs	Peptide Chemistry, 1996, 177-180 (1997)
石田寿昌, 尹 康子, 他	Ring-enlargement reaction of 3-alkyl-2-(N-cyanoimino)thiazolidine 1-oxide: formation of novel 5,6-dihydro-2H-1,2,4-thiadiazin-3(4H)-one derivatives	Synlett, 316-318 (1997)
石田寿昌, 尹 康子, 他	Total synthesis of stemodinone	Tetrahedron Lett., 38, 1801-1804 (1997)
大石宏文, 他	Comparison of a left-handed Z-DNA molecular Structure determined by X-rays with that simulated by a molecular dynamics	Biochem. Biophys. Res. Commun., 236, 146-150 (1997)
大石宏文, 他	Stereoselective synthesis of a chiral synthon, 2,2,5-trisubstituted tetrahydropyran, based on simultaneous 1,3- and 1,6-asymmetric induction via nucleophilic acetal cleavage reaction of the bicyclic acetal: a total synthesis of (-)-malyngolide	Chem. Commun., 1755-1756 (1997)
森 逸男, 臣永 宏, 藤田芳一, 松尾敬子	New and sensitive spectrophotometric determination of gold(III) with <i>N,N</i> -dimethyl- <i>p</i> -phenylenediamine and potassium persulfate	Anal. Lett., 30(5), 953-961 (1997)
森 逸男, 臣永 宏, 藤田芳一, 松尾敬子	Sensitive spectrophotometric determination of benzoylperoxide with <i>N,N,N',N'</i> -tetramethyl- <i>p</i> -phenylenediamine	Anal. Lett., 30(13), 2433-2439 (1997)
藤田芳一, 森 逸男, 松尾敬子	Improved <i>o</i> -sulfophenylfluorone-titanium(IV) complex method for total urinary protein assay	Anal. Sci., 13, 513-516 (1997)
内藤みつる, 森 逸男, 松尾敬子, 藤田芳一	製剤中の塩化リゾチームの吸光光度定量	分析化学, 46(12), 1003-1007 (1997)
齋藤睦弘, 本田正宏, 千熊正彦	ヘパリンおよびデキストランと低分子セレン化合物の conjugate 調製とそれらの活性に関する検討	Biomed. Res. Trace Elements, 8, 197 (1997)
千熊正彦, 他	Kinetic evaluation of interaction between two nitric oxide-releasing drugs and theophylline in human.	Jap.J. Therap. Drug Monitoring, 14, 344 (1997)
大桃善朗, 他	A novel radioiodination reagent for protein radiopharmaceuticals with L-lysine as a plasma-stable metabolizable linkage to liberate <i>m</i> -iodohippuric acid after lysosomal proteolysis.	J. Med. Chem., 40, 2643 (1997)

著者	題目	掲載誌
大桃善朗, 他	Synthesis and characterization of radioiodinated (S)-5-iodonicotine: a new ligand for potential imaging of brain nicotinic cholinergic receptors by single photon emission computed tomography	Chem. Pharm. Bull., 45, 284 (1997)
木村捷二郎, 泰松明子, 他	Radiation sterilization of the crude drug "Glycyrrhiza"	Biocontrol Sciences, 2, 87 (1997)
木村捷二郎, 泰松明子, 他	Loss and gain on glycyrrhizin content of glycyrrhiza ( <i>Glycyrrhiza Radix</i> ) by gamma-ray irradiation	Bull. of Osaka Pref. Univ., Series B, 49, 59 (1997)
木村捷二郎, 山沖留美	若狭地区環境表層土壌中の $^{137}\text{Cs}$ の分布	KURRI-KR-18, 167 (1997)
木村捷二郎, 岩本晶子, 他	電解濃縮用電極の改良と南大阪辺環境水中のトリチウムの測定	衛生化学, 43, 114 (1997)
木村捷二郎, 山沖留美	環境土壌および生薬中の $^{137}\text{Cs}$ の分布	衛生化学, 43, 349 (1997)
沼田 敦, 天形太郎, 箕浦克彦, 他	Gymnastatins, novel cytotoxic metabolites produced by a fungal strain from a sponge	Tetrahedron Lett., 38, 5675 (1997)
沼田 敦, 入谷雅士, 山田剛司, 箕浦克彦, 他	Novel antitumour metabolites produced by a fungal strain from a sea hare	Tetrahedron Lett., 38, 8215 (1997)
春沢信哉, 森山英樹, 村井良彦, 今津友成, 大石宏文, 米田龍司, 栗原拓史, 他	Efficient and $\beta$ -stereoselective synthesis of 4(5)-methyl-5(4)-(5-amino-5-deoxy- $\beta$ -D-ribofuranosyl)imidazole and related compounds exhibiting antiulcer activity	Chem. Pharm. Bull., 45, 53 (1997)
米田龍司, 木村哲他, 春沢信哉, 栗原拓史	Synthesis of C-ring modified analogues of camptothecin	Heterocycles, 46, 357 (1997)
芝野真喜雄, 北川 智, 草野源次郎	Studies on the constituents of <i>Broussonetia</i> Species. I Two new pyrrolidine alkaloids, broussonetines C and D, as $\beta$ -galactosidase and $\beta$ -mannosidase inhibitors from <i>Broussonetia kazinoki</i> Sieb	Chem. Pharm. Bull., 45, 505 (1997)
芝野真喜雄, 北川 智, 中村仁子, 赤澤直美, 草野源次郎	Studies on the constituents of <i>Broussonetia</i> species. II. Six new pyrrolidine alkaloids, as inhibitors of Glycosidase from <i>Broussonetia kazinoki</i> Sieb.	Chem. Pharm. Bull., 45, 700 (1997)
草野源次郎, 他	Saikosaponin homologues from <i>Verbascum</i> Spp. The structures of mulleinsaponins I-VII	Chem. Pharm. Bull., 45, 2029 (1997)
芝野真喜雄, 逸見文子, 松本吉広, 草野源次郎, 他	Studies on the index compounds for HPLC analysis of <i>Glycyrrhiza uralensis</i>	Heterocycles, 45, 2053 (1997)
芝野真喜雄, 逸見文子, 草野源次郎, 他	カンゾウの栽培および育種に関する研究 (I)	Nat. Med., 51, 403 (1997)
三野芳紀, 近藤里佳, 他	生薬の無機化学的研究 (第13報) 蛍光X線法による生薬中の無機成分の検討(その7) 高マンガン生薬—MRI用消化管経口造影剤としての有効性	Nat. Med., 51, 224 (1997)

著 者	題 目	掲 載 誌
馬場きみ江, 他	Histamine-release effectors from <i>Angelica dahurica</i> var. <i>dahurica</i> root	Journal of Natural Products, 60, 249
馬場きみ江, 谷口雅彦, 土井光暢, 他	Chemical constituents of roots of <i>Ferula licentiana</i> var. <i>tunshanice</i> and <i>F. kingdonwardii</i> and their systematical significance	Journal of Plant Resources and Environment, 6, 15
谷口雅彦, 藤原重紀子, 馬場きみ江	Three flavonoids from <i>Daphne odora</i>	Phytochemistry, 45, 183
谷口雅彦, 馬場きみ江, 他	Bicoumarins from <i>Pleurospermum rivulorum</i>	Phytochemistry, 45, 1275
中田功二, 勝又博司, 谷口雅彦, 馬場きみ江	アシタバに関する研究 八丈島産と大島産の比較	Natural Medicines, 51, 532
田中麗子, 述本和広, 尹 康子, 松永春洋, 他	New methoxytriterpene dione from the cuticle of <i>Picea jezoensis</i> var. <i>jezoensis</i>	J. Nat. Prod., 60, 319-322 (1997)
田中麗子, 大津博則, 松永春洋	<i>Abietane diterpene acids and other constituents from the leaves of Larix kaempferi</i>	Phytochemistry, 46 [6], 1051-1057 (1997)
大蔵直樹, 奥原宏明, 井上晴嗣, 池田 潔, 林 恭三	Purification and characterization of three distinct types of phospholipase A <sub>2</sub> inhibitors from the blood plasma of the Chinese mamushi, <i>Agkistrodon blomhoffii siniticus</i>	Biochem. J., 325, 527 (1997)
井上晴嗣, 薄田昌宏, 池田 潔, 林 恭三, 他	Dopaminergic transmitter up-regulation of brain-derived neurotrophic factor (BDNF) and nerve growth factor (NGF) synthesis in mouse astrocytes in culture	Biochem. Biophys. Res. Commun., 238, 468 (1997)
井上晴嗣, 島田亮子, 大蔵直樹, 池田 潔, 林 恭三, 他	Specificity of two types of phospholipase A <sub>2</sub> inhibitors from the plasma of venomous snakes	Biochem. Mol. Biol. Int., 41, 529 (1997)
藤井 忍, 池田 潔, 他	An efficient synthesis of short-chain sphingo myelin analogs and their susceptibility to hydrolysis catalyzed by shingomyelinase	Bioorg. Med. Chem. Lett., 7, 1725 (1997)
藤田 直, 佐久間覚, 筆本真由美, 渡辺季代子, 西田裕子, 藤本陽子	Effect of 13-hydroperoxyoctadecadienoic acid on the glucosamine synthetase activity in rabbit gastric mucosa	Res. Commun. Mol. Pathol. Pharmacol., 96, 209 (1997)
佐久間覚, 藤本陽子, 多賀野真哉, 角森正英, 西田裕子, 藤田 直	Effects of nonanal, trans-2-nonenal and 4-hydroxy-2,3-trans-nonenal on cyclooxygenase and 12-lipoxygenase metabolism of arachidonic acid in rabbit platelets	J. Pharm. Pharmacol. 49, 150 (1997)
藤田 直, 佐久間覚, 高橋一恵, 棒谷洋子, 西田裕子, 藤本陽子	Inhibition of rabbit gastric glucosamine synthetase activity by Cu <sup>2+</sup> , Zn <sup>2+</sup> and Se <sup>4+</sup>	Res. Commun. Mol. Pathol. Pharmacol., 96, 203 (1997)
佐久間覚, 藤本陽子, 坂本善彦, 内山武司, 吉岡公美子, 西田裕子, 藤田 直	Peroxyntirite induces the conversion of xanthine dehydrogenase to oxidase in rabbit liver	Biochem. Biophys. Res. Commun., 230, 476 (1997)

著 者	題 目	掲 載 誌
森本一洋, 上原由理子, 岩永一範, 掛見正郎, 他	Influence of absorption enhancer (bile salts) and the preservation (benzalkonium chloride) on mucociliary function and permeation barrier function in rabbit tracheas	Eur. J. Pharm. Sci., 印刷中 (1997)
岩永一範, 小野 聡, 成岡浩二, 森本一洋, 掛見正郎, 他	Oral delivery of insulin by using surface coating liposome Improvement of stability of insulin in GI tract	Int. J. Pharm., 157, 73 (1997)
森本一洋, 他	Platelet activating factor compromises airway epithelial defense functions	J. Allergy Clin. Immunol., 100, 520 (1997)
松尾 弦, 松村靖夫, 只野清史, 橋本貴至, 森本史郎	Effects of sarafotoxin S6c on renal hemodynamics and urine formation in anesthetized dogs	Clin. Exp. Pharmacol. Physiol., 24, 487 (1997)
松村靖夫, 橋本哲郎, 藤田克哉, 森本史郎	Ameliorating effect of FR139317, an ET <sub>A</sub> receptor antagonist, on renal function of deoxycorticosterone acetate-salt hypertensive rats	Eur. J. Pharmacol., 319, 65 (1997)
卜部和則, 松村靖夫, 西浦 学, 前田耕輔, 森本史郎	Renal hemodynamic and excretory responses to FK409, a novel nitric oxide donor, in anesthetized rats	Eur. J. Pharmacol., 321, 195 (1997)
喜多紗斗美, 松村靖夫, 谷田有里, 楠野斗茂子, 茶谷朱美子, 太口由子, 高岡昌徳, 森本史郎	Platelets enhance contractility in perfused rat mesenteric arteries: Involvement of endothelin-1	Eur. J. Pharmacol., 340, 209 (1997)
松尾 弦, 松村靖夫, 只野清史, 橋本貴至, 森本史郎	Involvement of nitric oxide in endothelin ET <sub>B</sub> receptor-mediated inhibitory actions on antidiuresis and norepinephrine overflow induced by stimulation of renal nerves in anesthetized dogs	J. Cardiovasc. Pharmacol., 30, 325 (1997)
松尾 弦, 松村靖夫, 只野清史, 森本史郎	Effects of sarafotoxin S6c on antidiuresis and norepinephrine overflow induced by stimulation of renal nerves in anesthetized dogs	J. Pharmacol. Exp. Ther., 280, 905 (1997)
玄番宗一, 他	Relationship between amount of $\beta$ -blockers permeating through the stratum corneum and skin irritation after application of $\beta$ -blocker adhesive patches to guinea pig skin	Biol. Pharm. Bull., 20, 421 (1997)
安田正秀, 玄番宗一, 他	Synthesis and opiate activity of pseudo-tetrapeptides containing chiral piperazin-2-one and piperazine derivatives	Chem. Pharm. Bull., 45, 1940 (1997)
倉本 孝, 玄番宗一, 他	Purification of docosahexaenoic acid by selective esterification of fatty acids from tuna oil with Rhizopus delemar lipase	J. Am. Oil Chem. Soc., 74, 97 (1997)
田村泰久, 玄番宗一, 他	Effects of ischemia-reperfusion on individual cytochrome P450 isoforms in the rat kidney	Life Sci., 60, 143 (1997)



著 者	題 目	掲 載 誌
河合悦子, 玄番宗一, 他	Protective effects of Wen-Pi-Tang against cultured renal epithelial cellular injury	Phytomedicine, 4, 245 (1997)
鶴岡浩志, 徐 紅, 黒田和道, 保坂康弘, 他	Detection of influenza virus RNA in peripheral blood mononuclear cells of influenza patients	Jpn. J. Med. Sci. Biol., 50, 27 (1997)
辻坊 裕, 大槻崇人, 飯尾 隆, 山崎 勲, 宮本勝城, 稲森善彦, 他	Cloning and sequence analysis of genes encoding xylanases and acetyl xylan esterase from <i>Streptomyces thermoviolaceus</i> OPC-520	Applied and Environmental Microbiology, 63, 661-664 (1997)
稲森善彦, 室 親明, 佐嵩永子, 片桐基晴, 岡本征子, 田中 創, 辻坊 裕, 他	Biological activity of purpurogallin	Bioscience, Biotechnology and Biochemistry, 61, 890-892 (1997)
稲森善彦, 他	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌 (MRSA) に対するヒノキチオールの抗菌活性 (第2報) 医療環境消毒への応用	木材学雑誌, 43, 882-891 (1997)
阪口真人, 邑口浩子, 松村瑛子, 他	Characterization of chymase from human vascular tissues	Clinica Chimica Acta, 265, 13 (1997)
小林成好, 松村瑛子, 他	Induction of chymase that forms angiotensin II in the monkey atherosclerotic aorta	FEBS Lett., 412, 86 (1997)
碓井信二	Eine literarische Höllenfahrt durch die Kultur der Weimarer Zeit (IV)	ばいでいあ, 21, 41-67 (1997)
土井 勝	Lepton Number Violating Processes in the Gauge Theory	ばいでいあ, 21, 3 (1997)
加藤義春	Theorien zum Nationalstaatsproblem (III)	ばいでいあ, 21, 69-74 (1997)
濱中久美子	翻訳 犠牲の炎 (3) ゲルトルート・フォン・ル・フォー著 濱中久美子訳 Gertrud von le Fort: Die Opferflamme (3)	ばいでいあ, 21, 75-91 (1997)

## 2. 総説・解説

著 者	題 目	書名または掲載誌 (出版社)
藤田芳一	ピロガロールレドーモリブデン (VI) 錯体法を中心とした尿タンパク質定量法の開発	ぶんせき, 1997(6), 486-490
木村捷二郎	放射線滅菌の現状と展望. 3. 生薬・漢方 (医薬品)	Radioisotopes, 46, 933 (1997)
木村捷二郎	生薬の微生物汚染対策への放射線法の利用の概要	防菌防黴, 25, 475 (1997)
木村捷二郎, 泰松明子	大腸菌 O-157: H7 の放射線感受性	防菌防黴, 25, 413 (1997)
春沢信哉, 栗原拓史	[3,3] Sigmatropic rearrangement of cyclic thionocarbonates of medium ring-size	Reviews on Heteroatom Chemistry, 16, 137 (1997)
米田龍司	トピックス; ヨウ化サマリウム (II) 触媒反応への新展開	ファルマシア, 33, 1017 (1997)

著 者	題 目	書名または掲載誌 (出版社)
草野源次郎	キノコによる中毒	神経精神薬理, 19, 251 (1997)
掛見正郎	薬学教育改革の現状とその問題点	調剤と情報 3巻9月号3頁 (1997)
森本一洋	最前線, 薬物の投与ルートとしての肺吸収の可能性と限界	ファルマシア, 33, 1097 (1997)
松村靖夫	エンドセリン-1の病態生理学的意義—DOCA 食塩高血圧ラットを用いた検討—	循環器科, 41, 108 (1997)
保坂康弘	特集インフルエンザ: インフルエンザウイルス核蛋白の構造と機能	日本臨牀, 55, 101 (1997)
黒田和道, 保坂康弘	特集インフルエンザ: インフルエンザウイルス特異的CTLの抗原エピトープ	日本臨牀, 55, 172 (1997)
鶴岡浩志, 徐 紅, 黒田和道, 保坂康弘	特集インフルエンザ: インフルエンザウイルス血症—流行期におけるPCR法による検索—	日本臨牀, 55, 216 (1997)
三谷佐孝	A woman saves Paul	ぱいでいあ, 21, 101-105 (1997)
楠瀬健昭	Just Take It Easy!	ぱいでいあ, 21, 93 (1997)

### 3. 著書

著 者	題 目	出 版 社
千熊正彦, 他	化学平衡と分析化学	廣川書店 (1997)
齋藤陸弘, 千熊正彦, 他	分析化学I 改訂第4版	南江堂 (1997)
栗原拓史, 他	第3版 有機薬品製造化学	廣川書店 (1997)
三野芳紀, 他	新訂生薬学 改訂第4版	南江堂 (1997)
三野芳紀, 他	天然医薬資源学	廣川書店 (1997)
太田俊作, 他	基礎薬学I 1997年版	廣川書店 (1997)
辻 彰, 他	医薬品情報集 1997年版	廣川書店 (1997)
掛見正郎, 他	(辻彰編集) 医療薬学, 臨床薬物動態学 ローランド・トーマー	廣川書店 (1997)
掛見正郎, 他	医療薬学II 薬剤学 1998年版	廣川書店 (1997)
掛見正郎, 森本一洋, 他	薬剤師のための常用医薬品情報集 97年版	廣川書店 (1997)
掛見正郎, 森本一洋, 他	わかりやすい生物薬剤学, 第2版	廣川書店 (1997)
玄番宗一, 他	薬物治療学	(株)ミクス (1997)
河合悦子, 米花 務, 玄番宗一, 他	腎とフリーラジカル (第3集)	東京医学社 (1997)

著 者	題 目	出 版 社
保坂康弘	正20面体対称／らせん対称（分担執筆） メディカル用語ライブラリー：ウイルス，細菌感染 new ファイル。編集：永井美之，渡辺治雄	羊土社，15（1997）
楠瀬健昭	第13章 読みのコンテキスト—『虹』と『恋する 女たち』の受容 ポスト・モダンの D.H. ロレン ス，ピーター・ウィドーソン著，楠瀬健昭ほか訳	松柏社，360（1997）

#### 4. 社会的活動

著 者	題 目	書名または掲載誌
大石宏文，天形太郎， 大津博則，陽谷 武， 石田寿昌	Macintosh とネットワークを活用した薬学生への コンピュータ教育とその評価	平成9年度情報科学研究集会論 文集，9，173-176（1997）
木村捷二郎	大阪薬科大学における放射線管理と教育	日本原子力産業会議・関西原子 力懇談会：「保健物理に関する 研究状況等の動向調査」最終報 告書，90（1997）
馬場きみ江	「元気百倍野菜」大集合	わかさ，3，27

#### 編 集 後 記

平成10年4月大学の組織変更があり，広報図書課から広報部門を分離して，新たに入試・広報課ができました。この学報と創刊予定の広報誌の作成については入試・広報課が担当することになりました。

今年度の学報編集ワーキンググループのメンバーは次のとおりです。学報35号から，広報誌の創刊を念頭において編集が変ってきています。いかがでしょうか。皆様のご意見をお聞きかせください。  
(伊藤 記)

広報委員会	学報編集ワーキンググループ
	岡 源郎， 千熊 正彦
	加藤 義春， 有本 正生
	安田 正秀， 北氏 明正
	藤田 純生， 高橋 嘉明
	伊藤 美雄

# 葺

発行

大阪薬科大学広報委員会

〒569-1094 大阪府高槻市奈佐原4-20-1

TEL (0726) 90-1000 (代表)

FAX (0726) 90-1005

URL : <http://www.oups.ac.jp>